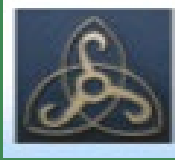


2024.12. 23(月)



滋賀県立
聾話学校

11月20日、今年度PTAで作成されたコミュニケーションボードが草津警察署管内に置いていただけることになり、贈呈式が行われました。この様子が、11月23日の京都新聞滋賀版に掲載されました。

これは大阪府立堺聴覚支援学校のPTAの方々が作られ、本校のPTAでも是非取り組みたいという願いから作られたものです。

コミュニケーションボード の作成

公共交通機関での 意思疎通に

聴覚障害の児童生徒が、通学途上など、街中で困ったことに遭遇したとき、どうしたら自分の思いを伝えることができるか？聴覚障害の人が困っていることがわかっていても、どうやって伝えたらいいのか？そんな日常の場面を想定し、少しでもコミュニケーションがスムーズにできたらうれしい、安心できるという思いから作られました。

意思疎通に役立てて

絵と文字併記のボード作成

聾話学校PTA、草津署に寄贈



学校PTAは20日、コミュニケーション支援ボードを草津署に寄贈した。ボードは同署や管内11カ所の交番と駐在所に配備される。

東と、栗東市の県立聾話

支援ボードは7枚1

コミュニケーション支援ボードを代表して寄贈する県立聾話学校の
中塚校長(右)

草津市・草津署



組で、縦25センチ、横18センチ。

絵と文字を組み合わせ

て作られており、「落

としました」「拾いま

した」などと書かれた

文字を指さすことで警

察官に相談したい内容

が円滑に伝えられる。

作成に携わったPT

Aの中川笑さんは、大

阪の学校でこの取り組

県立聾話学校PTAが寄贈した支援ボード。聴覚障害のある人が警察官と円滑なコミュニケーションを図る目的で作られた



みを知り、「よい活動を一緒に広げたい」と制作を決めたという。中川さんは「コミュニケーションに困難を抱える方々が使いやすいように提示してもらえたら」と話した。

(飯島将太)